

平成26年7月25日

全教員対象とした「^{ひょうせつ}剽窃防止ソフト」の運用を開始します

[研究機能]

広島大学は、昨年、文部科学省「研究大学強化促進事業」の研究大学として22機関の一つに選定され、世界大学ランキングトップ100入りを目指して研究力強化へ向けた取り組みを加速しています。

論文等の発信もこれまで以上に推進しており、併せて発信する論文等についてその信頼性も向上させるため、8月1日から下記のとおり、全教員を対象とした剽窃防止ソフトの運用を開始します。

使用する剽窃防止ソフトは、学会等でも広く使用されている剽窃・盗作検知オンラインツールです。論文等の独自性を発表前にチェックすることで、意図しない自己剽窃の防止や共著・引用部分の正当性確認、品質の向上等が可能になります。

本ソフトは昨年度末に既に購入しており、今回、全教員が利用できるような環境を整え、運用を開始することとしたものであり、さらなる質保証・不正事案防止の徹底を図ります。

【運用概要】

1. 各教員が取得しているメールアドレスを剽窃防止ソフトに登録し、ログインIDとして用い、論文等を学外発信する際は各教員が事前に剽窃確認
2. 教員は、剽窃防止ソフトでチェックした類似率などを確認のうえ、学外発信の適正について判断
3. 大学は、定期的に各教員のチェック状況を確認

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室 研究企画室 担当：市川
TEL:082-424-5881